

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年4月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 新しい理事が就任
2. 東日本大震災における山形大学の対応Ⅱ
3. 東日本大震災復興活動のための「スマイル・トレード 10%」を提案
4. 東日本大震災被災者の皆さんの「はやぶさ」観覧を可能に！
5. DVDで「やってみよう！理科実験」

お 知 ら せ

1. 小白川キャンパス『トワイライト開放講座』(前期開講分)
2. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので延期を決定したイベント

(参 考)

- 次回の学長定例会見(予定)

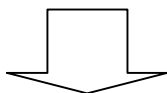
日 時：平成23年4月19日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成23年4月5日
山形大学

新しい理事が就任

- かわ た すみ お
河 田 純 男 (前任)
兵庫県立西宮病院病院長就任のため退任



- ふか お あきら
深 尾 彰 (新任)
研究、評価担当

経 歴

昭和57年1月	東北大学医学部助手
昭和61年4月	日本電信電話株式会社宮城支社
平成元年4月	東北大学医学部助教授
平成8年6月	山形大学医学部教授
平成16年4月	山形大学評議員 (～平成20年3月)
平成20年4月	山形大学医学部副学部長 (～平成23年3月)
平成23年4月	国立大学法人山形大学理事

※ 任 期 : 平成23年4月1日～平成23年8月31日

(お問い合わせ)
山形大学総務部総務課
TEL: 023-628-4006

平成23年4月5日
山形大学

東日本大震災における山形大学の対応Ⅱ

○安否確認状況

別紙のとおり

○卒業生に対する学長告辞

本来ならば、学位記等授与式の際に、学長から卒業生に対してのはなむけの言葉となる学長告辞を、3月28日に大学のホームページに掲載いたしました。別紙を参照願います。

○授業料免除願書受付期間の延長

平成23年度前期分授業料免除の受付期間を以下のとおり延長します。

【在学生及び大学院生】

震災による交通事情等でこの期間に提出できない方は、受付期間を4月20日（水）まで延長します。（ただし、土・日・祝日を除く。）

【学部新入生】

学部新入生の受付は、下記のとおり変更いたします。

日時：4月21日（木）・4月22日（金）9：00～16：30

場所：基盤教育1号館1階 学生用多目的室

※4月7日（木）・4月8日（金）の受付は中止いたします。

○オリエンテーション

【人文学部】

「新入生歓迎の会・オリエンテーション」として実施いたします。

日時：平成23年4月20日（水）

9：00～ 新入生歓迎の会（普段着でお越しください。）

9：30～ 学生生活オリエンテーション

場所：基盤教育2号館2階

※会場の大きさの関係上、会場には新入生の方のみ入場。

【地域教育文化学部】

「入学行事・新入生オリエンテーション」として実施いたします。

日時：平成23年4月19日（火）13：00～（14：00終了予定）

場所：基盤教育2号館221教室（2階）

※会場の大きさの関係上、会場には新入生の方のみ入場。

保護者の方には控え室を準備いたします。

【理学部】

- ・学部新生の方を対象に下記のとおり開催します。
日時：平成23年4月19日(火) 13:30～
場所：理学部先端科学実験棟4階 S401大講義室
※学部新生のみ対象です。保護者の方の参加はご遠慮願います。
- ・大学院新生の方を対象に下記のとおり開催します。
期日：平成23年4月22日(金)
場所：理学部1号館1階12番講義室
開始時間：大学院博士前期課程新生 10:15～
開始時間：大学院博士後期課程新生 11:15～
※大学院新生のみ対象です。保護者の方の参加はご遠慮願います。

【工学部】

別紙のとおり

【農学部】

- ・学生生活オリエンテーション
日時：平成23年4月20日(水) 10:30～11:55
- ・新生オリエンテーション
日時：平成23年4月21日(木) 9:00～11:30

※医学部については、詳細が決まり次第、お知らせいたします。

○授業の開始

- ・学部新生の授業は、4月25日(月)から開始する予定です。
※工学部フレックスコースは、4月22日(金)から開始します。
- ・2年生以上の専門教育の授業は、2週間遅れて開始します。
ただし、地域教育文化学部は、当初の予定どおり4月11日から授業を開始します。
また、医学部は、4月中は授業を行いません。授業再開については、改めてお知らせします。

○山形大学の支援状況

別紙のとおり

(お問い合わせ)
山形大学総務部広報ユニット
TEL：023-628-4005

学生の安否確認について（平成23年4月5日（火） 9:00現在）

	人文学部		地域教育文化学部		理学部		医学部		工学部		農学部		計	
	確認数	在籍数	確認数	在籍数	確認数	在籍数	確認数	在籍数	確認数	在籍数	確認数	在籍数	確認数	在籍数
学部生総数	1,374	1,376	1,052	1,054	815	815	918	918	3,037	3,040	687	687	7,883	7,890
大学院生総数	28	28	82	82	147	147	193	193	788	788	※128	※128	※1,366	※1,366
別科			42	42									42	42
計	1,402	1,404	1,176	1,178	962	962	1,111	1,111	3,825	3,828	※815	※815	※9,291	※9,298
安否不明者数	2		2		0		0		3		0		7	
死亡者数					▲1		0				0			

※岩手大学との連合大学院（博士課程）に在籍する学生数21名を含む。

平成22年度 卒業生に対する告辞

このたび、山形大学で学士の学位を取得されました1,761名の皆様、山形大学大学院で修士の学位を取得されました440名の皆様、博士の学位を取得されました46名の皆様、そして、養護教諭特別別科を修了されました42名の皆様、誠にめでたうございます。

保護者の皆様にとりましても、ご子息、ご息女を社会に送り出すに至ったこれまでの長い年月のことを考えますと、そのお喜びはいかばかりかと拝察を申し上げます。

去る3月11日に東北地方を襲った地震と津波は、未曾有の被害をもたらしました。被災された数多くの皆様方に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

現在、本学に在籍する9,298名の学生の安否の確認に全力を挙げているところですが、これまでに、1名の学生が犠牲となられたことが判明いたしました。本学で学び、これから社会で活躍する道半ばで亡くなられたことは、誠に残念で言葉ありません。衷心より哀悼の意を表します。また、ご家族の無念さは察するに余りあります。心からお悔やみを申し上げます。

山形大学の学生が震災の犠牲になったことを、本学の学生及び教職員の全員が心に刻み、残された我々に今何が出来るかを考えなければなりません。

今回の大震災は、第2次世界大戦後の最悪の惨事であり、国家的な危機であります。当面の被災者の救助から将来の復興まで、多方面で膨大な努力が必要です。まさに日本人の思いやりと助け合いの心が試されています。今回の震災を経ても、山形大学の機能はしっかりと維持されています。この危機を乗り越えていくために、山形大学としてできることは全て実施していく覚悟でいます。特に、被災した学生の皆様に対しては、山形大学として可能な限りの救援と支援の手をさしのべていくつもりです。

21世紀に入り、はや、10年が経ちました。日本は、総人口が減少に転じ、高齢化が進んでいく社会となりました。落ち着きのある、成熟した社会に向かっているのだと思っています。価値観の重点も、ハードなものからソフトなものへ、モノからこころへと移ってきているように感じています。

卒業生の皆様は、山形市、米沢市及び鶴岡市のキャンパスで大学生活をすごされて、社会に巣立っていくことになりました。山形に住む人々は、優しくて信心深く、伝統的な文化を守りながら、精神性の高い生活を営んでいます。このような人々に囲まれ、美しい自然環境に恵まれた山形は、大学生が勉学に打ち込み、思索にふけるには、絶好の場所だと思っています。皆様は、この地でどのような大学生活を送られたのでしょうか。ここでなければ得られない、貴重な体験や経験をされたのではないかと思います。山形大学での学生生活が、皆様のかげがえのない財産となり、

これからの人生を豊かで、潤いのあるものにしてくれることを確信しています。

これからもしも、皆様が困難に突き当たって、どうしたらよいか分からないような時があれば、ぜひ、キャンパスに戻ってきてください。母校の先生方は、必ず、親身になってご相談に乗るつもりでおりますし、皆様が学生時代をすごした街は、皆様をやさしく癒してくれるはずです。

皆様は、山形大学で教養教育と、それぞれの専攻分野の専門教育を受けられました。山形大学で学ばれたことは、皆様がこれから生涯を通して学んでいくための基礎・基本であると考えています。つまり、人類が長年かけて築き上げてきた知識や知恵の全体の姿、「知の体系」がどうなっているかを理解し、それを習得するためにはどのように学習をすればよいかを学ばれ、さらには、その「知の体系」を拡大・発展させていくためにはどのように調査や研究をすればよいかを経験されました。これを出発点として、さらにご精進し、一生涯、学び続けていてもらいたいと思います。

私のこれまでの人生を振り返ってみると、人生とは、結局は他人とのかかわり合いであり、助け合いであるということ強く感じます。実社会においては、どんな職業に就くにしても、多くの人と揉まれ合い、その中で、相手から信用してもらえ、人間関係を築いていくことが必要不可欠です。そのためには、周りの人から信頼され、尊敬される「人格」を磨いていくことがなによりも大事なことだと痛感しています。皆様が山形大学での生活を通して身につけられた「教養」と「常識」を基盤にして、これからの人生の長い道のりにおいて、「人格」をさらにりっぱなものに鍛え、高めていてもらいたいと願っています。

もう一つ、皆様のこれからの人生において、大事なことがあります。それは、「健やかな体作り」です。健康な体と体力がなければ、学ぶ意欲も続きませんし、働き続けることも難しくなります。

どうぞ、社会人となってからは、バランスの良い食事をし、睡眠をしっかりと確保し、適度なスポーツと運動を続けて、自らの健康管理に努めて行って下さい。

今回の大震災で受けた被害は甚大であり、復旧・復興まで、多大な時間とエネルギーが必要です。これからの日本の復興・発展は、皆様一人一人の肩に掛かっているとと言っても過言ではありません。山形大学の卒業生である誇りと自覚を持って、皆様がそれぞれの分野で力を尽くし、立派に貢献されることを心から祈念いたしまして、私からはなむけの言葉といたします。

平成23年3月28日

山形大学長 結城章夫

工学部・大学院理工学研究科オリエンテーションの予定

【1年生（新入生） 昼間コース】

4月19日（火） 15：00～ 事務手続き（小白川キャンパス）
15：00～ 保護者会（小白川キャンパス）

【1年生（新入生）システム創生工学科】

4月19日（火） 10：30～ 事務手続き（米沢キャンパス中示範C教室）
10：40～ 保護者会（米沢キャンパス 214教室）

【2年生 昼間コース】

4月20日（水） 9：30～ 全体及び学科別オリエンテーション

【3年生 編入学生】

4月20日（水） 16：30～ 全体及び学科別オリエンテーション

【理工学研究科 大学院博士前期課程 工学系】

4月21日（木） 10：00～ 専攻別オリエンテーション
（ものづくり技術経営学 4月23日（土） 16：00～）

【理工学研究科 大学院博士後期課程 工学系】

4月21日（木） 15：00～ 専攻別オリエンテーション（112教室）

山形大学の支援状況

	支 援 概 要
(学生)	
ボランティア活動	避難所等において、支援物資の運搬、仕分け作業、避難者名簿の作成等（人文、理、農学部）
	津波被害にあった家屋の泥出し、清掃等（人文学部）
	街頭での募金活動（農学部）
	山形大学理学部・農学部おにぎりプロジェクト～お米一合基金～を実施（理、農学部） 山形市総合スポーツセンターに、8日～15日の間おにぎりを提供。
	卒業生から使用しない家電や家具を回収し、被災者の方に無料で提供するリユース活動（工学部）
(教員)	
地域教育文化学部	山形県栄養士会からの要請を受け、栄養指導のため教員(管理栄養士)を避難所(山形市総合スポーツセンター)に派遣。
	山形県臨床心理士会からの要請を受け、心理的支援のため教員(心理学担当)を避難所(山形市総合スポーツセンター)に派遣。
	教員(心理学担当)が、多賀城市教育委員会と連携し、子ども及び小・中学校教師に対する心理的ケア及び助言を実施。
	東北大学の学生及び院生、一般市民と共同で、宮城県社会福祉協議会における、防災科学技術研究所「eコミマップ」(防災ウェブGIS)の運営に関する支援を実施。
	国・地方自治体・学会との共同で歴史的建築の被害調査を行う予定。
理学部	山形県からの要請を受け、県内産農畜産物等の放射性物質検査を実施。
	教員と学生ボランティアが避難所で、理科実験講座を開催する予定。
医学部・附属病院	山形大学DMAT(医師1名、看護師2名、事務2名)を災害援助活動のため仙台医療センターへ派遣。
	宮城県警からの要請を受け、ご遺体の身元確認のため歯科医師を派遣。
	宮城県警からの要請を受け、災害時検案支援医師の委嘱により、教員(法医学講座、1名)を派遣。
	山形県からの要請を受け、避難所(県体育館)での医療支援を行うため医師(4名による当番制)、看護学科教員と看護師(各1名による当番制)を派遣中。
	山形県からの要請を受け、被災者への医療救護班に医師(1名)を派遣し、気仙沼市での医療救護活動を行う予定。
工学部	米沢市に対し、放射線量測定データを提供。(1日に9回測定)
(物資等の支援)	
医学部・附属病院	東北大学附属病院に対し、医薬品及び非常食等を支援。(非常食600食、飲料水500本、おにぎり250個、その他チョコレート、バナナ、ビスケットなど)
	東北大学附属病院に対し、医療機材の滅菌受け入れの支援を実施(16日～22日、1日2～3回、各コンテナ40～50個分)
	山形県に対し、放射線線量計2台を貸出し。
山形大学、農学部	山形大学、農学部附属やまがたフィールド科学センターから、東北大学に対し、合わせて米1.5トン、ジュース40本などを提供。

山大理学部・農学部 おにぎりプロジェクト



～お米一合基金～

この度の東北・関東大震災を受け、山形市総合スポーツセンターには多くの方が避難してきております。そんな方々におにぎりを届けるプロジェクトを立ち上げました。

ひとりひとりの「米一合」が多くの人の助けになります。

1口1合(生米)からの受付です。ぜひご協力ください！

お米受付期間：4月5日(火)～4月7日(木)の12:00～15:00

お米受付場所：山形大学理学部1号館 13番教室(1F)

お米は袋やペットボトル等に入れて持参してください。

※当日は「おにぎり具材募金箱」を設置してあります。ぜひご協力ください！

【学生・教員おにぎり握り隊の募集】

募集人数：20人前後

握り隊募集期間：4月5日(火)～4月7日(木)

連絡先：yamadai_onigiriproject@yahoo.co.jp

平成23年4月5日
山形大学

東日本大震災復興支援のための 「スマイル・トレード10%」を提案

東日本大震災という未曾有の災害に際し、山形大学と東北芸術工科大学の教員等が、新しい東北を創出するために「スマイル・トレード10%」を提案します。

この活動は、大学による新しい社会貢献のカタチとして実施されるものです。

○「スマイル・トレード10%」とは

日常の仕事や生活の10%のリソースを復興活動に充てることを目標にするキャンペーンであり、多くの人が、無理なく、長く続けられるサポート体制を目指します。

○「スマイル・トレード10%」の具体的取組例

1. 「ソーシャル・マッチング・システム」の開発

① ボランティア・リソース・マッチング・システム (for People)

日常の時間の中からボランティア活動に使える時間を登録し、人材が足りないボランティア活動とマッチングをして活動に参加できるようにするシステムをNPOと協働して構築し、広く社会に開放します。

② ビジネス・コラボレーション・システム (for Business)

東北圏内の経済活動を支援するために、「分かち合い」を基盤としたビジネスマッチング・システムを山形県中小企業家同友会と協働して構築し、広く経済界で活用できるように開放します。

2. 大学での取組例

① 学生ボランティア活動の支援

「ポスト311」の時代に東北で学ぶ意義を復興活動に生かすため、学生がボランティア活動をすることを大学として積極的に支援します。

② 協賛企業等への支援

「スマイル・トレード10%」の基本コンセプトに賛同いただいた企業等に活動導入施策をサポートするサービスを提供します。

3. 「東北未来塾」の開講

今だからこそ、この東北の地から未来の日本を創り上げるための「東北未来塾」を開講します。これまでの日常の延長線上ではなく、新しい東北を創出するための地と知を構築し、新しい生活スタイルと産業を提案し、未来を担う人材を育成します。

「東北未来塾」は、山形駅前の「ゆうキャンパス・ステーション」等で広く市民・NPO・中小企業向けに開講するほか、被災地での現地支援にも積極的に取り組みます。

(お問い合わせ)

エンrollment・マネジメント室 教授 平尾 清
TEL: 023 (628) 4866

スマイル・トレード10% キャンペーン

Smile Trade 10%

東日本大震災によって、
私たちはたくさんのかげがえのないものを失いました。
しかし、同時に震災直後の心ぼそい暗闇のなかで、
みんなが〈ほんとうに大切なもの〉を見つけたはずです。

いま、あなたの前にある、
大切なものをまもり続けられる社会をつくるために、
みんなの日常の10%をあつめて、
〈あたらしい東北〉を生きるエネルギーに！

「Smile Trade 10%」

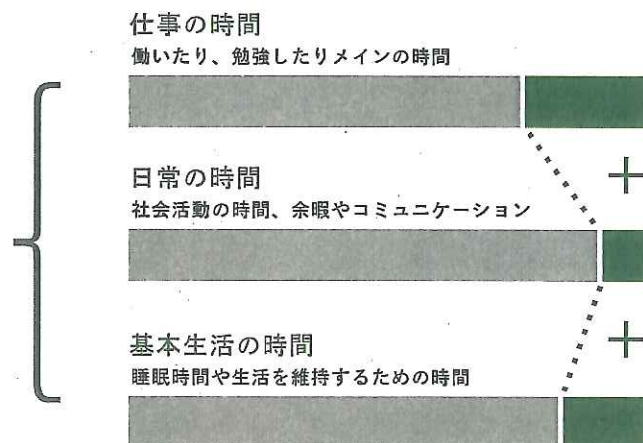
まずは、笑顔をわかちあうことからスタートです。

Smile Trade 10%

仕組み

日常生活には、リソース（資源）がたくさんあります。

日常の中から色々な時間を少し集めると、継続したサポートを無理なく続けていくことが可能になります。みんなの日常が、みんなの未来の日常を助けて創り上げることになります。アイデアや工夫もリソースの一つです。日常生活の中にあるリソースを再点検して東北の復興活動に生かすのが、スマイル・トレード10%の目標です。



||

生活の様々なリソースから合計

10%

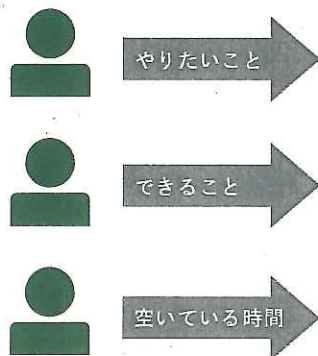


ソーシャル・マッチング・システム

サポートしたい気持ちと、必要とされている活動を
マッチングすると、大きな活動につなげることができます。

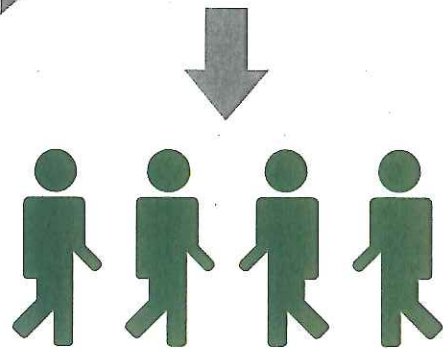
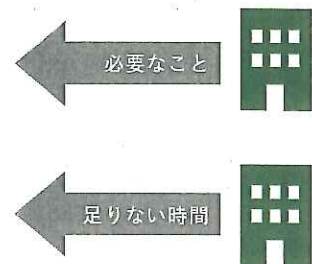
For People

日常の中で、使える時間をマッチングサイトに入力。自分が参加できる情報をガイド。



For NPO

市・県などのボランティア活動。必要とされていることや、足りない時間などの情報をインプット。



Smile Trade 10% 活動



東北未来塾

新しい日本を創造する学びと活動の場を、東北に作ります。

震災後に築くべく世界を真剣に問い、求め、創り上げるための場を作ります。
既存の組織やしがらみから解放された、自由なディスカッションと活動を実践
することを目指していきます。



東北未来塾の開講。

5月にセミナーを実施。

被災地域でのボランティア活動と、東北の未来を考えるシンポジウムを組み合わせた新しいスタイルの学びの場を創造します。

定期セミナー

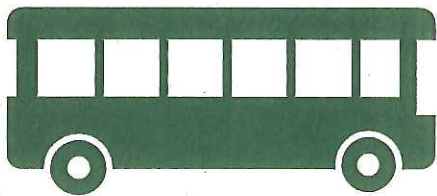
ソーシャル / シェア / ベンチャー・スピリッツを軸に、セミナーを開催。支援の現場からの声も加えての復興のためのディスカッションを実施。未来に向けた提言活動も行います。



学生支援

学生ボランティア活動の支援

今、この時代に、この場所で学ぶ意味をより深めるために、学生が自主的に取り組むボランティア活動を、大学の正規単位としてサポートする授業を開始します。



例えば被災地までのボランティア活動の支援



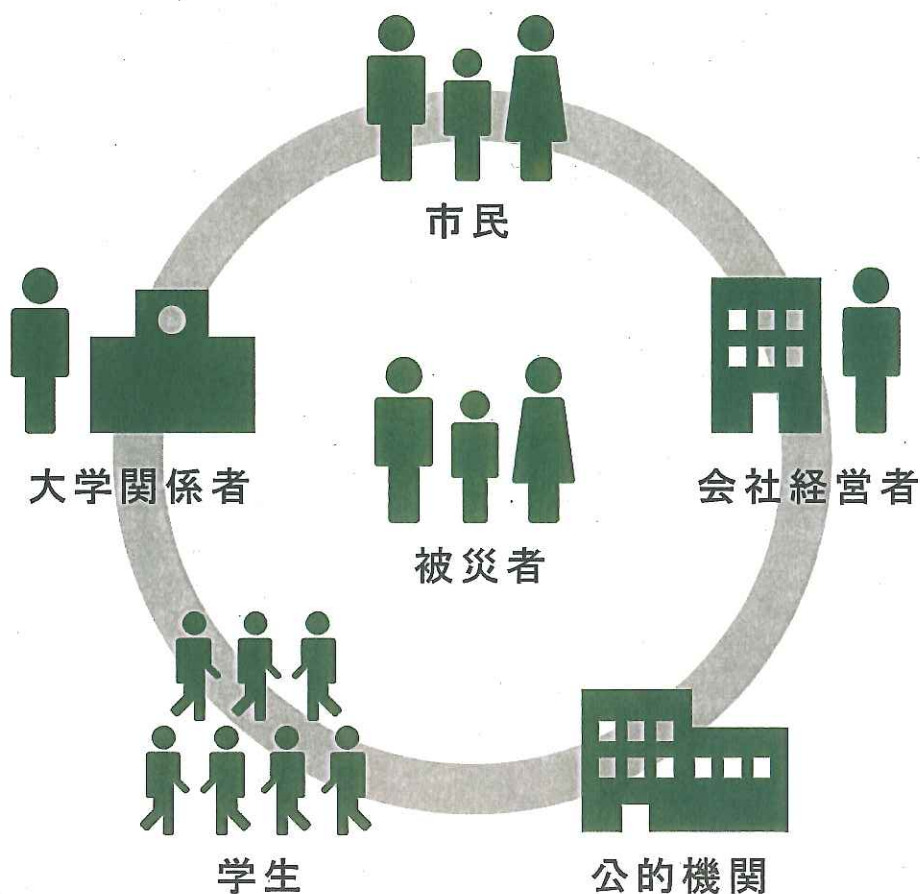
例えば現地でのボランティア活動の斡旋

- ボランティア活動をする学生のために、必要となる事前学習授業の実施。
- 実際のボランティア活動の機会の提供
- 短期的な支援ではなく、恒常的な支援活動ができるようサポート体制の強化。
(各NPOとの連携など)



推進体制

日常の各局面をトータルにサポートできるよう、
オープンな体制を構築。



様々な人々がサポーターとして参加出来るオープンな体制です。

平成23年4月5日
山形大学

小惑星探査機

東日本大震災被災者の皆さんの「はやぶさ」観覧を可能に！

避難所での不安な生活を余儀なくされている被災者の方々に
避難所とはやぶさ展示会場の往復バスを提供します。

山形大学と「大学コンソーシアムやまがた」は、山形市教育委員会と共催する『小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示 in 山形』を、山形市総合スポーツセンターに避難されている方々に、送迎のバスを準備し観覧をプレゼントします。

日時：平成23年4月8日（金）

10：15～、14：00～、16：00～

経路：山形市総合スポーツセンター ⇄ 山形市中央公民館（アズ七日町）

定員：各回60名乗り大型バスを3往復（60名×3台＝180名）

平成15年5月9日の打ち上げから平成22年6月13日の帰還まで、60億km 7年間の旅を終えた「はやぶさ」から、元気をもらってもらえたらうれしいです。

なお、展示に先立ち、6日（水）18：00～19：00の予定で、報道機関等の皆さまを対象に事前内覧会を開催します。

※小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示 in 山形〔詳しくは、別添の資料をご覧ください。〕

日時：平成23年4月7日（木）～10日（日）10：00～19：00

場所：山形市中央公民館 4階 大会議室（アズ七日町）

入場料は無料ですが、整理券が必要です。

主催：山形市教育委員会

共催：『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

（七日町商店街振興組合、山形市中央公民館、山形県産業科学館、山形県立博物館、山形大学、山形大学理学部、NPO法人 小さな天文学者の会など）

協賛：山形スリーエム株式会社

（お問い合わせ）

山形大学総務部広報室

TEL：023-628-4005

『んだ!「はやぶさ」見に行かなね』プロジェクト **関連事業スケジュール**

- 2月26日(土) ~5月8日(日) **企画展「うつくしい鉱物と岩石」** (県立博物館)
※3月26日(土)~27日(日)、春休み子どもわくわく講座「移動地質標本館」
(特別出典:(独)産業技術総合研究所地質標本館)
- 3月19日(土) **【イベント】**
小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示イベント
(七日町商店街振興組合・中央公民館)
- 4月9日(土) **はやぶさをつくって飛ばそう! ~ペットボトルロケット飛ばし大会~**
(県産業科学館)
- 4月16日(土) **JAXAタウンミーティングin山形** (JAXA・山形市教育委員会)
- 4月23日(土) **吉川 真氏「「はやぶさ」が運んでくれたもの、そして「はやぶさ2」へ」講演会**
(NPO法人 小さな天文学者の会)
- 5月3日(火) ~5月5日(木) **「四次元宇宙シアター」上映会** (県立博物館)
- 5月9日(月) **「街角で月を」~植木市観望会~** (NPO法人 小さな天文学者の会)
- 6月12日(日) **【クローゼイングイベント】** (山形大学理学部)
講演会「「はやぶさ」が持ち帰ったものの正体に迫る」

詳細については、<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/shoten/hayabusa/index.html> を参照ください

スタンプラリー いくつかのイベントに参加したかな?

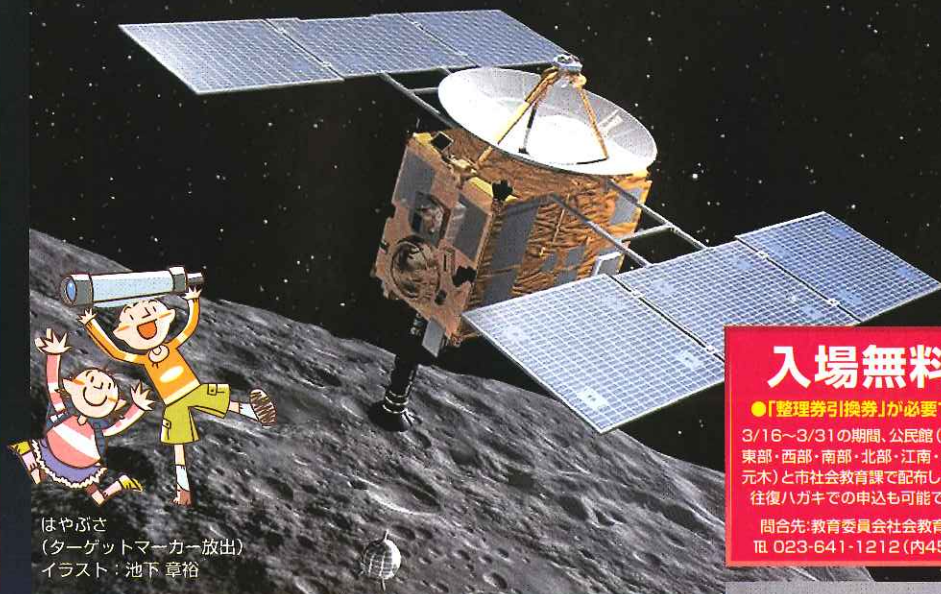


※「アズ七日町」(山形市中央公民館)へは、公共交通機関をご利用ください。※山形市中央公民館の駐車場はありません。

小惑星探査機

「はやぶさ」

帰還カプセル展示 in 山形



入場無料

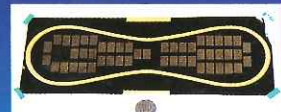
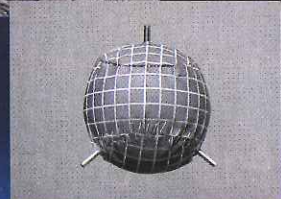
●「整理券引換券」が必要です
3/16~3/31の期間、公民館(中央・東部・西部・南部・北部・江南・霞城・元木)と市社会教育課で配布します。往復ハガキでの申込も可能です。

問合せ: 教育委員会社会教育課
TEL 023-641-1212(内458)

日時 2011年 4月7日[木]~10日[日]
10:00~19:00 (※最終 入場18:30)

場所 山形市中央公民館 4階 大会議室 (アズ七日町)

主催: 山形市教育委員会
共催: 『んだ!「はやぶさ」見に行かなね』プロジェクト (山形県産業科学館・山形県立博物館・山形大学理学部・NPO法人 小さな天文学者の会・七日町商店街振興組合・山形市教育委員会)
協賛: 山形スリーエム株式会社



展示会場内は写真撮影禁止です



パラシュート ©JAXA



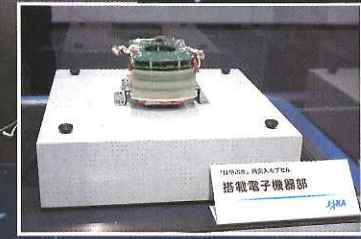
インストゥルメントモジュール ©JAXA



前面ヒートシールド ©JAXA



背面ヒートシールド ©JAXA



搭載電子機器部 ©JAXA

はやぶさ（地球帰還カプセル再突入）イラスト：池下 章裕

3/19 [土] スレイベント

○場所:山形市中央公民館（アズ七日町）ホール

13:30～ 講演会 「“はやぶさ”が運んでくれたもの」
上杉 邦憲 氏（JAXA名誉教授・上杉家当主）

14:40～ 映画上映 「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」

6/12 [日] クロージングイベント

○場所:山形大学理学部 大講義室
○主催:山形大学理学部

13:30～16:30 「“はやぶさ”が持ち帰ったものの正体に迫る」

- 招待講演
- ★「はやぶさカプセルの地球帰還から、カプセル開封、いとかわ微粒子発見まで」 中村 智樹（東北大学大学院理学研究科 准教授）
- ★「イトカワから持って帰られた微粒子はどのようなものか？」 野口 高明（茨城大学理学部 教授）

講演会・映画会

- 4月23日（土）13:30～16:30
吉川 真氏「「はやぶさ」が運んでくれたもの、そして「はやぶさ2」へ」講演会
映画「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」
場所:遊学館大ホール（主催:NPO法人 小さな天文学者の会）
- 4月16日（土）14:00～16:30
JAXAタウンミーティングin山形
場所:中央公民館 4階 大会議室（主催:JAXA・山形市教育委員会）
- 5月3日（火）～5日（木）※時間はお問い合わせ下さい
「四次元宇宙シアター」上映会
場所:県立博物館（主催:県立博物館）

体験してみよう!!

- 2月26日（土）～5月8日（日）
企画展「うつくしい鉱物と岩石」
場所:県立博物館（主催:県立博物館）
※3月26日（土）～27日（日）
春休み子どもわくわく講座「移動地質標本館」
- 4月9日（土）10:30～15:00 ※事前申込要
はやぶさをつくって飛ばそう！
～ペットボトルロケット飛ばし大会～
(1) 工作教室 会場:山形県産業科学館「発明工房」
(2) 発射体験 会場:山形駅西イベント広場（霞城セントラル南側）
(主催:県産業科学館 TEL 023-647-0771)
- 5月9日（月）19:00～21:00
「街角で月を」～植木市観望会～
場所:文翔館（主催:NPO法人 小さな天文学者の会）
- 毎週土曜日 19:00～21:00
やまがた天文台
「星空ガイドツアー、惑星を見よう」
場所:山形大学インフォメーションセンター
(主催:NPO法人 小さな天文学者の会)



平成23年4月5日
山形大学

DVDで「やってみよう！理科実験」

おもしろいぞ

小・中・高等学校の理科教育に貢献する「やまがた未来科学プロジェクト」が家庭で簡単にできる理科実験DVDを無料で配布します。

「やまがた未来科学プロジェクト」では、学内や県内の高等教育機関や研究機関等の実験講座のテキストを集め、学生らが実際に実験を行い、統一フォーマットで実験の手引書を作成しました。身近なものを使って遊ぶなかで、科学に興味を持つきっかけにして欲しいという思いで、家庭で簡単にできる理科実験を六つ選びDVDを作成しました。

収録内容

1. スライムを作ろう
2. スライムボールを作ろう（スライムがスーパーボールに変身！？）
3. はずむシャボン玉で遊ぼう
4. 手作りブーメラン
5. 発泡入浴剤で遊ぼう
6. プラスチック板キーホルダー

DVDには、映像のほか、実験材料や手順を詳しく説明したPDFも収録しています。保護者の方の手引きとして利用できます。

小学校や学童保育などで、このDVDを活用いただくことで子どもたちに「なぜ？」「どうして？」「おもしろい！」など、小さな興味が芽生えることを願って無料で配布いたします。

DVDは500枚作成し、山形県内小学校、県内理科教育センター、総合博物館・科学館・自然館、天文台・プラネタリウム、市内学童保育クラブなど390カ所に配布しております。

(お問い合わせ)
山形大学SCITAセンター
TEL: 023-628-4506

プレス通知資料（概要）

平成23年4月5日
山形大学

1. 小白川キャンパス『トワイライト開放講座』（前期開講分）

（概要） 小白川キャンパスにある人文学部、地域教育文化学部及び理学部が開講している授業科目を高校生の皆さんにも「トワイライト開放講座」として、広く開放いたします。この機会に、山形大学キャンパスで大学生と一緒にさまざまな講義を体験してみましょう。

【人文学部】

講義内容：「人間文化入門総合講義」「総合講座Ⅱ（法律）」
日 時：4月～7月の毎週木曜日 16：30～18：00

【地域教育文化学部】

講義内容：「生物資源とバイオ」
日 時：4月～7月の毎週木曜日 16：30～18：00

【理学部】

講義内容：「サイエンスセミナー」
日 時：4月～7月の毎週金曜日 16：30～18：00

対 象：高校生（理学部の授業科目は一般の方にも開放します。）
受 講 料：無 料

〔詳しくは、<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/twilight.html> をご覧下さい。〕

問い合わせ：山形大学地域教育文化学部 学務担当
(TEL) 023-628-4309

2. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので延期を決定したイベント

○講演会『「はやぶさ」が運んでくれたもの、そして、「はやぶさ2」へ』 ～太陽系誕生の歴史に迫る～

同時上映映画：Hayabusa --Back to the Earth --

日 時：平成23年4月23日（土）13：30～16：45

場 所：遊学館大ホール

講 師：吉川 真（JAXA 准教授）（はやぶさプロジェクトサイエンティスト、
はやぶさ2プリプロジェクトマネージャー）

問い合わせ：『んだ！「はやぶさ」見に行かんね』プロジェクト
（プロジェクト代表：柴田晋平 山形大学理学部 教授）
(TEL) 023-628-4552